

せったん

第133号 2011年2月15日

発行 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
TEL078-393-1801 (代) FAX 078-393-1802

北摂・丹波支部



協会顧問税理士の浦上立志先生

三田市・キッピーモール講座室にて (12/11)

会員懇談会

今から備える 相続税対策

—2011年度税制改正の動向も踏まえて—

「トラブルにならない相続税対策を」

北摂・丹波支部は12月11日、会員懇談会を三田市キッピーモールで開催し、13人が参加した。「今から備える相続税対策」2011年度税制改正の動向も踏まえて」というテーマで、協会顧問税理士の浦上立志先生が講演した。参加者の感想文を紹介する。(兵庫保険医新聞1月25日号掲載)

【感想文】

税金の申告はすべて税理士に任せますが、今後の税金の改正および両親の高齢のため、今回の講演は興味がありました。

2011年度予算も92・4兆円の過去最高を更新している中で、ますます負担が増加するのはいかなるものかと思えます。

国税は直接税・間接税・流通税など24の税、地方税の都道府県税は13の税、市町村税は14の税があります。これだけ多くあるので、生活するには必ずといっても良いほど、課税されているわけです。税金は健康・福祉・教育・道路・下水道整備などの仕事に必要な経費として使用されるので、完全に無駄なく明瞭に使ってほしいものです。

今回の講演の相続税は、直接税の財産税の相続税になります。相続税とは違いますが、たばこ特別税があり、これは国鉄長期債務の処理のため、98年に新設されています。愛煙家ならホームに灰皿を必ず設置してほしいと思うでしょう。

相続は人が亡くなることで発生するわけで、財産の多い少ないに関わらず残された誰もが相続に直面することになるので、何らかの対策が必要になってきます。

浦上先生の言葉で「相続される方が、後々仲が悪くならないようにするのが一番である」という言葉が印象に残りました。そのためには、財産税の贈与税が、自分の財産を自分の意思でもって引き継いでもらいたい人に渡すことができ、上手く活用すれば節税効果があります。この方法が私も最適だと思います。

最後になりましたが節税も大事ですが、後生に財産を残すのも良いと思いますが、自分・家族の生活向上のために自分で得た物は、上手に使用してしまうのが良いと思います。

【三田市・歯科 中西 透】



終了後の忘年会では、2011年度の支部企画の話など和気藹藹と懇談を深めた

【今後の支部企画】 今からご予約ください!

研究会「睡眠時無呼吸症候群」

日時 2月26日(土) 18:00～20:00

会場 三田市総合福祉保健センター会議室1・2

講師 井尻博和先生(北区・井尻歯科クリニック)

参加費 無料

>>詳細は裏面に

在宅医療点数研究会(医科)

日時 3月26日(土) 14:00～16:00

会場 キッピーモール多目的ホール3

講師 木村忠史 副支部長(木村クリニック)

参加費 無料 ※テキスト代3,000円

「在宅医療点数の手引き2010年版」

院内感染対策研修会パートⅡ

テーマ「外来での標準予防策と対策マニュアル作り」(仮)

日時 4月23日(土) 14:00～16:00

会場 キッピーモール多目的ホール(案)

講師 小川麻由美氏(済生会兵庫県病院 感染管理認定看護師)

参加費 無料

5月以降も毎月行事を企画しています☆

5月 接遇研修会(初級編)

6月 接遇研修会(中級編)

7月 第22回支部総会・記念講演

8月 市民公開企画 映画会&学習会



※お問い合わせは、078-393-1801・3(平井・黒木まで)



兵庫県保険医協会 北摂・丹波支部 医科・歯科合同研究会のご案内

睡眠時無呼吸症候群における口腔内装置治療

日時	2月26日(土) 18:00～20:00
会場	三田市総合福祉保健センター会議室1・2
講師	井尻博和先生(北区・井尻歯科クリニック)
参加費	無料

日本において、睡眠時無呼吸症候群(SAS)は2003年2月26日の山陽新幹線の事件によって一躍有名になり社会的に大きく取り上げられるようになりました。その事件とは、山陽新幹線の運転士(33歳)が運転中に寝込んでしまい、最高時速270キロで8分間居眠りをしたまま31キロ走行し、自動列車制御装置(ATC)が作動して岡山駅に本来の停車位置の100m手前で自動停止したという事件です。この運転士が重度のSASであることがわかり、大騒ぎになりました。

その治療法の大きな柱となっているのがCPAP療法ですが、様々な問題点もあり継続できない患者も少なくはありません。

そのような背景のなかで、2004年4月より閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSAS)においてOA(口腔内装置)による歯科的治療が保険適応となり、当クリニックでは2005年から関連病院の紹介患者によるOA治療に取り組んでまいりました。

OA治療に接したことがなくどのような装置なのか、どのように治療すればよいのか、またその治療の効果はどうかと疑問に思われている先生も多いかと思しますので、この機会にOAの具体的な治療方法やその治療効果等の臨床的なお話と、必須となります医科との連携について紹介させていただき、皆様の参考にしていただければと思います。(井尻記)



お申し込みは FAX(078)393-1802 で

参加 都合がつけば参加

三田市・丹波市・篠山市・()市・区

医療機関名() お名前()

「篠山市の医療をよくする会」・「兵庫県社会保障推進協議会」

社会保障施策の充実を求めて

篠山市・丹波市と懇談

「篠山市の医療をよくする会」(北摂・丹波支部加入)と「兵庫県社会保障推進協議会」は、国保・福祉に関わる問題で1月17日に篠山市と、2月1日に丹波市と懇談した。懇談は、事前に県社保協が実施したアンケートへの回答をもとに、短期証や資格証明書の発行状況、国保の財政状況や保険税の収納、医療費助成制度等について質疑を行った。

篠山市との懇談には、会から石田宇則代表ほか5人(協会事務局1人)と県社保協から阿江事務局次長が出席、市からは保健福祉部の前田公幸部長と医療保険課の植野桂子課長が対応した。この中で医療保険課は、「資格証発行の28世帯には訪問まではできていないが文書や電話の催告にも全く応じてもらえず会えない世帯に限定している、中学生以下のいる世帯は除外している」、また保険税の滞納世帯が昨年度1222世帯から877世帯に減っていることについて、「今年度から徴収専門の収税課に一括したこともあるが、合併以降整理ができていなかった居所不明分(約280件)を抹消したため」と説明した。さらに、昨年国保税が値上りしたことについて、「基金を投入して上昇を抑制しているが、2年に1回は上げていかないといけない状況」と理解を求めた。



篠山市との懇談(1/17 篠山市役所)

丹波市との懇談には、県社保協の阿江氏ほか市民ら5人(協会事務局2人)が出席、丹波市からは目賀多茂健康部長、大森友子福祉部長をはじめ6人が対応した。丹波市では「滞納世帯が増えており悪質滞納者もいるが、基準が明確には決められないので、医療が受けられないことがないように国保資格証は発行していない」とし、留め置きもなく、短期証も6ヶ月と他市に比して長期間のものを発行しているなど、市の姿勢を説明した。また、生活保護が40～50代が顕著に増えていること、子宮頸がん予防ワクチンの助成制度については検討中であることなどが報告された。



丹波市との懇談(2/1 丹波市保健センター)

出席者からは、「要介護4・5の方の介護者への特別障害者手当の利用案内」など一層の社会保障施策の充実を要望した。